

한통련 뉴스레터

제50호

発行:在日韓国民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●国情院による民主労総への家宅捜索…尹政権は公安弾圧をすぐさま中止しろ！



公安弾圧の中止を要求する民主労総の組合員たち

国家情報院(国情院)と警察庁は1月18日、全国民主労働組合総連盟(民主労総)関係者に国家保安法違反容疑をあげ、ソウルにある民主労総本部の家宅捜索に入った。民主労総側は弁護士の立ち会いを求め、国情院と警察関係者が本部に入ることを阻止しようとし、双方がもみ合いになる場面もあった。警察は約700人を動員しエアマットやはしご車まで配置、民主労総が入るビルを封鎖、統制した。

家宅捜索は、国情院が捜査している済州島にある進歩民衆団体の元幹部らによる国家保安法違反の事件と関係があるとされているが、民主労総と進歩民衆勢力側では否定している。

民主労総は19日、同本部で「—国情院動員 労働弾圧・公安統治復活—尹錫悦(ユン・ソンニョル)政権糾弾 民主労総緊急記者会見」を開催。国情院の家宅捜索を糾弾し、公安弾圧の中止を求めるとともに、警察と国情院を前面に立てた反民主・反民生・反労働政権を許さず闘うと主張し

た。

また、民主労総と民弁、全農、全国民衆行動、参与連帯、キリスト教教会協議会など231団体は大統領室前で共同記者会見を開催。国情院による民主労総への家宅捜索を糾弾し、尹政権に進歩陣営への公安弾圧をすぐさま中止するよう求めた。

昨年11月から始まる進歩民衆勢力に対する公安弾圧はついに民主労総にまで及んだ。国情院は主張する事件について、意図的にメディアに情報を流し、「スパイ団」などの見出しが躍る記事をあふれさせ、進歩民衆勢力に「アカ攻撃」を加えて「北の手先」というレッテルを張ろうと画策している。18日の家宅捜索は関係者のコンピューター一台を押収しただけで、大がかりな捜索態勢がいかに対外的なイメージづくりを企図しているかを示した。対共捜査権の警察への移譲を控える国情院は、尹政権の誕生を好機ととらえ、既得権の維持にとどまらず拡大まで視野に入れながら巻き返しを図っている。政府・与党も協力姿勢だ。

尹政権は反対勢力、そのなかでも団結した労働者の力を封じ込めるために、民主労総の弾圧に乗り出した。進歩民衆勢力の中心である民主労総に対する弾圧は、尹政権が進歩民衆勢力に対して全面的で本格的な攻撃を開始したことを意味する。進歩民衆勢力の総団結した力で公安弾圧をはねのけ、尹政権の野望を打ち砕かなければならない。

●尹大統領のイラン「敵」発言…またもや「外交惨事」!



「アーク部隊」を激励する尹大統領

尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領は1月15日、国賓として訪問したアラブ首長国連邦（UAE）で韓国軍の「アーク部隊」を訪れ、将兵を激励しながら「われわれの兄弟国であるUAEの安全保障はすなわち、われわれの安保」と述べた。「UAEの敵、最大の脅威はイランで、われわれの敵は北」とし、韓国とUAEはよく似た立場にあると語った。

尹大統領の発言を受け、イラン側はユン・ガンヒョン駐イラン韓国大使を呼び出して抗議した。韓国外交部も19日にシャベスタリ駐韓イラン大使を呼び、尹大統領の発言について説明した。尹大統領のスイ

ス訪問に同行している大統領室関係者は「UAEが直面した安全保障の厳しい現実を直視しながら熱心に勤務してほしいという趣旨の、将兵たちに対する発言だった」と説明。尹大統領の発言が韓国とイランの関係とは無関係だという立場を改めて示した。

尹大統領の失言・放言・暴言がまた飛び出した。UAEとイランは関係改善に努力しているところであり、UAEにとってイランは「敵」ではない。当然、尹大統領が「敵」だと勝手に規定し言及すべきことではない。ましてや朝鮮を引き合いに出す必要はまったくない。大統領の外交能力を云々する前に品性と知性が疑われる発言だ。昨年9月訪米時の低俗語発言に続く第二の「外交惨事」と言わざるを得ない。大統領室は弁明に追われたが、納得できる説明ができるはずもない。尹大統領は帰国の際、専用機内での定例記者会見を実施しなかったが、記者からの質問に答えてさらなる失言・放言・暴言が出ることを防ぐためであったのは間違いない。

●【記事紹介】全国民衆行動「新冷戦対決と朝鮮半島の戦争危機を造成、韓米国防長官会談」を厳しく糾弾!



民主労総のキム・ウニョン副委員長が糾弾発言

進歩民衆勢力の連合体である全国民衆行動は1月31日、国防部前で、屈辱的な韓米国防長官会談を糾弾する記者会見を開催。拡大抑止、韓米日軍事同盟、戦争演習強化、新冷戦対決と朝鮮半島の戦争危機造成を厳しく糾弾した。統一ニュース（2月1日）から記者会見文を紹介する。

記者会見文

拡張抑止の強化に反対する! 韓米日軍事同盟に反対する! 戦争演習を中止しろ!
新冷戦対決と朝鮮半島の戦争危機を造成する韓米国防長官会談を糾弾する!

1月31日午後、国防部で韓米国防長官会談が行われる。昨年11月に米国で開かれた第54回韓米安保協議会（SCM）以後、3カ月ぶりに再会する場だ。今回の会談では対北政策の共助、米国の拡大抑止実行力の強化および2、3月に行われる戦争演習の準備状況などを論議するといわれている。

誰が戦争を呼び起こしているのか。誰が対決局面を助長しているのか。

拡大抑止手段運用演習（D S C T T X ※米国で実施）と大規模機動演習が伴う3月の韓米合同戦争演習（※韓米合同軍事演習「フリーダム・シールド（F S）」）を予告した。

米国は先般の韓米首脳会談（※2022年11月13日、カンボジア・プノンペン）で、戦略資産を朝鮮半島でたえず展開すると公言した。

米国はプノンペン共同声明（※2022年11月13日、韓米日首脳共同声明）で言及したように、韓米日ミサイル情報の即時共有を推進しており、韓米当局はサード（※THAAD、高高度ミサイル防衛システム）の正式配置を急いでいる。米国は今回の国防長官会談以後、韓米日同盟を推進しようとしており、これは朝鮮半島の軍事緊張をさらに激化させるものだ。

米国は1月13日の米日首脳会談を通じて、日本が反撃能力を明示して新たに発表した国家安保政策を歓迎すると明らかにした。また日本と中国が領有権で紛争中の尖閣諸島（中国名、釣魚群島）を集団防衛の範囲に含めると再確認した。米国が準備している東アジアでの戦争に日本を積極活用している。これとともに韓米日の協力強化に合意しながら、韓国も戦争の渦に巻き込まれている。

尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は米国

●【記事紹介】2024年総選挙勝利、120万民主労総はすでに開始した

120万人の組合員で構成する民主労総は、進歩民衆勢力における自身を中心とする政治勢力化を実現し、その団結した力で、2024年総選挙で勝利することを目標とする工程表を立てて実践に入っている。民プラスの記事（1月26日、チョ・ヘジョン記者）を紹介する。

「労働者の政治勢力化で国会を変えよう」
政治方針の現場討論が盛ん…4月代議員大

の戦争同盟と結託し、朝鮮半島をさらに危険な状況へと追い込んでいる。韓米日軍事同盟を完成させるために、強制動員被害者が数十年間つらいおもいで叫んできた要求も黙殺し、韓日関係をつくろうことに熱をあげている。

米国の新冷戦対決と覇権競争の渦のなかで行動隊長として乗り出している尹政権により、現在の朝鮮半島は軍事緊張が高まっている。今回の韓米国防長官会談は、朝鮮半島が米国の戦場であることを確認する契機となるだろう。

停戦70年だ。米国と尹政権の危険な戦争への疾走を防がなければならない。朝鮮半島を戦場にしてはならない。戦争を防ぎ平和を実現するために立ち上がろう。

拡大抑止手段運用演習は朝鮮半島での戦争演習だ！ すぐさま中止しろ！

韓米合同戦争演習をすぐさま中止しろ！

朝鮮半島の戦争危機を呼び起こす韓米国防長官会談を糾弾する！

韓米日軍事同盟を強要する韓米国防長官会談を糾弾する！

2023年1月31日

全国民衆行動

原文 <http://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=207173>

会で確定

「労働者政治勢力化」に乗り出す理由と方向

2024年総選挙を前に民主労総では政治方針の樹立のための討論が盛んだ。現場の討論が活発に進行している。

ヤン・ギョンス民主労総委員長は新年辞で
「労働者政治勢力化で国会を変えよう」

「組合員が直接政治の主人として立ち上がり、2024年総選挙を巨大二党政治を終わらせ不平等な社会を変える出発点にしよう」と120万組合員に訴えた。

ヤン委員長は「120万組合員が先頭に立つ全民衆的な闘争で反民主・反民生・反労働の尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権を終わらせ、労働者の政治勢力化で新しい社会のための大きな歩みを踏み出そう」と強調し、「進歩政党はもちろん進歩民衆陣営とともに労働者、民衆の利益を代弁する労働者の政治を始めよう」と主張した。

民主労総は政治方針の討論から総選挙の準備を始めた。民主労総の政治方針はいわば「労働者政治勢力化」へと進むための方針だ。

民主労総の綱領と基本課題には「労働者政治勢力化」が明示されている。民主労総は「労働者政治勢力化」の定義について、「歴史と生産の主人である労働者が政治の主人として地位を確固とし、労働中心の価値が実現される政治、社会的体制を確立していく過程」だとする。

「労働者政治勢力化」の方向

民主労総の政治方針の現場討論文には「労働者政治勢力化」の方向を5つ提示している。

△民主労総が進歩政党を含む進歩政治勢力の結集点となる力で労働者執権を成し遂げ、社会を変革すること△農民、貧民など進歩民衆勢力と力を集め、同伴者的関係をつくり、ともに成長すること△進歩諸政党など進歩政治勢力が大団結する労働中心の進歩政党を建設すること、そして△韓国社会の体制転換と進歩改革のための大衆闘争と政治改革闘争の先頭に民主労総が立つこと、このために△具体的な目標と経路、実現方案を策定し、準備を始めなければならないとする内容だ。

民主労総が今年、政治方針を樹立する理由は政治方針が長く不在だったためだ。今年、政治方針を再定立することで「労働者政治勢力化」の路線と方向を揺らぐことなく推進するためだ。

また、民主労総は社会を変える労働運動へと跳躍するために、民主労総の政治方針を再定立しなければならないと強調した。政治方針の再定立により、進歩政治勢力の団結と強化の先頭に立ち、これらを通じて民主労総が影響力のある進歩政治勢力へと成長しなければならないというものだ。民主労総は進歩民衆勢力を一つに集め、強力な大衆闘争の力を蓄積し政治勢力化を実現するとの決意だ。

「労働者政治勢力化」に乗り出す理由

民主労総が「労働者政治勢力化」のために乗り出す理由はこのように△綱領と創立宣言の精神を実現し△社会を変える労働運動を実現することだけでなく△最低賃金闘争と非正規職の正規職化闘争など労働者の闘争において、政治・制度的障壁をこえられない現実を変えようとする労働現場の切迫した要求でもある。労働者が自ら議会権力の主人となる総選挙をつくろうとの意味が込められている。

また、ヤン委員長が訴えたように、「新自由主義、反労働的な保守二大政党体制を打破」し△労働中心の価値を実現する社会をつくるためだと明らかにした。

民主労総は2月末まで討論文について現場で活発に討論し、4月に政治方針を樹立することを目標にしている。2024年4月総選挙の一年前になる。

政治方針だけでなく総選挙方針を樹立する中央執行委員会の討論を始めた。これまでのような候補一本化水準にとどまる選挙方針ではなく、「労働者政治勢力化」という戦略的方向を提示する政治方針とともに総選挙方針についての論議を始めたものだ。

民主労総は来月7日、定期代議員大会を開く。総選挙を一年後に控えた今年2023年の事業計画を討論する。そして4月には臨時代議員大会を開き、政治方針・総選挙方針を決定し総選挙計画を樹立し、政治勢力化の新しい段階をつくる予定。

民主労総は政治方針と総選挙方針の樹立のために幹部と組合員用の教育資料を作成、全国巡回討論会も開催する。

政治方針を討論するたびに浮沈を経てきた

民主労総、今年は保守二党体制の打破、不平等体制の転換、そして直接政治の主人となり労働中心社会を実現するために政治方針を定め実践する。

民主労総の総選挙闘争はすでに始まった。民主労総の決心が2024年総選挙において結実するか、期待に値する。

原文 <http://www.minplusnews.com/news/articleView.html?idxno=13390>

활동보고 活動報告

●映画「私はチョソンサラムです」広島上映とトークイベント開催…活発に意見交換



トークショーで発言する尹康彦代表委員（写真右）

ドキュメンタリー映画「私はチョソンサラムです」の2回目の広島上映とトークイベントが1月28日、広島県立美術館講堂で開催された（2回上映）。主催は韓統連広島本部も参加した同実行委員会。

アイ女性会議広島県本部の貴田月美氏が、実行委員会を代表し開会あいさつ。貴田氏は「戦後も差別は続いている。差別と闘う在日の方が、祖国でスパイ容疑により死刑判決が出るとは思ってもみないこと。

まさに朝鮮戦争が休戦状態であることを物語っている」と語った。

1回目の映画上映後、トークイベントを開催。映画に出演した在日韓国良心囚同友会の李哲（イ・チョル）代表は、「韓国がかつての暗い時代にならないよう、明るい未来を展望しよう」と述べた。広島朝鮮初中高級学校教員の金令姫（キム・リョンヒ）氏は、「朝鮮高校無償化の問題は日本社会の問題。ともに考えていきたい」と語った。韓統連広島本部の尹康彦（ユン・ガンオン）代表委員は映画にも取り上げられ、自身も参加した2019年の「3・1独立運動100周年・韓統連母国訪問団」の活動を紹介し、「韓統連への反国家団体規定による弾圧は不当。国家保安法の撤廃が必要」と語った上で、「すべての同胞が統一の主人公。ウリ＝私たちの力を合わせていくことが大切だ」と訴えた。

●「東アジアを戦場にさせないぞ！韓・琉・日の民衆大連帯を！1・29反戦集会」開催される



講演するキム・ウニョン副委員長

「資本主義を越える新しい時代を拓く反戦実行委員会（略称・反戦実）」は1月29日、都内で「東アジアを戦場にさせないぞ！韓・琉・日の民衆大連帯を！1・29反戦集会」を開催した。

韓国民主労総のキム・ウニョン副委員長が「東アジアの危機と私たちの役割」と題しリモート講演。キム副委員長は現在の東アジア情勢について「現在の危機的な状況

況は、国力の低下した米国が中国、ロシアを包囲するため、韓米日の軍事同盟を強化していることが背景にある」と指摘。韓国の尹錫悦（ユン・ソンヨル）政権については「経済を破綻させ、労組、野党弾圧によって民主主義を破壊した。歴史を逆行させる尹政権が安定する前に、私たちが先制的に闘争を展開しなければならない」とし、「進歩勢力の再建を果たし、団結と闘争で危機を突破しなければならない。韓米日の軍事同盟に風穴を開けるのは、韓日市

民の連帯闘争だ。団結した力で平和と人権、民主主義を勝ち取っていかう」と語った。

主催者側から基調提案が提案され、会場の拍手で採択された。

沖縄・一坪反戦地主会関東ブロックが沖縄・与那国島の現状を報告。「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」「戦争・治安・改憲 NO！実行委員会」、「韓国サンケン労組を支援する会」からの連帯メッセージが続いた。

행사예정 行事予定

2月

第2回尹錫悦政権糾弾集会(東京)

日時: 2月18日(土) 午後5時30分 場所: 京成上野駅前 主催: 同実行委員会 連絡先: 090-4298-6113

第58回韓青全国冬期講習会【スノーフェスティバル2023】

日時: 2月23日(木・休)～2月25日(土) 場所: 長野県・志賀ハイランドホテル 内容: ウィンタースポーツ、学習企画、グループディスカッション、民族文化マダン 料金: 一般28000円、学生25000円、初参加・高校生20000円 連絡先: 03-4400-5331 ※案内チラシは最終ページ

第58回韓青全国冬期講習会 紹介

今回は尹鏞昊（ユン・ヨンホ）実行委員長のメッセージをお届けします。



「韓青のキャンプは民族のすばらしさや楽しさを体験できるのが特徴で、韓青全国の仲間と出会える行事です。今年はコロナ禍から3年ぶりの開催となり、長野・ゲレンデでの開催は6年ぶりです。ウィンタースポーツを楽しむのに加えて韓青の魅力を楽しめる、大変お得な行事になっています。

韓青に來れば民族を軸とした家族にも近い人間関係をつくることができます。実行委員一同、一丸となって二泊三日間の民族空間をつくり上げるために力を尽くしています。ぜひご参加ください！」

△申し込みは韓青ホームページの特設ページから <http://hanchung.org/archives/4229>

在日コリアン同士で行く

主催

在日韓国青年同盟

한국 청년



在日韓国青年同盟は16~35歳の在日韓国人青年・学生の団体です。全国の各本部で地域の在日同胞が集まって活動しています。(問合せ: 03-4400-5331)

第58回韓青全国冬期講習会

【スノーフェスティバル2023】

スキー&スノーボード

2/23(木)

2/25(土)

長野県
志賀ハイランドホテル



志賀高原の天然温泉



お問い合わせはコチラ!



←左記のQRコードから参加申し込み頂けます

¥20,000~28,000

宿泊費・食費・交通費、全部コミコミでこの値段!

※初参加および高校生20,000円、学生25,000円、一般28,000円

在日コリアン同士だからこそそのイベント盛り沢山!

ポイント1 同胞だけの民族空間

全国に在日同胞の友達ができる

日本全国から同世代の同胞が集まり、ゲームやディスカッションを一緒に楽しめます。

ポイント2 自分のルーツを学べる

在日韓国人としてどう生きる?

在日韓国人として民族的に生きるとは、知りたいことが分かる学習企画をご用意しています。

ポイント3 民族文化を感じられる

民族文化を感じる韓青文化マダン

民族楽器やソレ(歌)など民族文化に触れる「韓青文化マダン」で体の奥から民族を感じれます。

【第58回韓青全国冬期講習会「スノーフェスティバル2023」】

■日程: 2023年2月23日(木)~2月25日(土)

■場所: 長野高原 志賀ハイランドホテル (〒381-0401 長野県下高井郡山之内町志賀高原丸池)

■参加費: 初参加/高校生: 20000円、学生 25000円、一般 28000円 (交通費、宿泊費、食費など含む)

はんちゃん

